

第3回みらいミーティング会議報告

- 1 日時 令和6年10月17日（木）14時00分～15時30分
- 2 会場 水島支所5階 大会議室
- 3 テーマ 倉敷ではたらく
- 4 参加者 倉敷中央雇用開発協会

市長	<p>市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のみらいミーティング開催の目的は、倉敷市で働く人を増やし、定着を促し、街の発展につなげることである。 ・ 倉敷市は G7 倉敷労働雇用大臣会合を開催した実績があり、ものづくりのまちとして全国的に認知されている。 ・ 市は労働雇用政策課を新設し、企業の魅力向上や雇用に関する政策を強化している。 ・ 参加者には、採用活動の工夫や課題、社員の定着に関する意見、市への要望などを自由に発言してほしい。
雇用開発協会 会長	<p>倉敷中央雇用開発協会についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉敷中央雇用開発協会は、240社の加盟企業とともに、雇用対策、労働力の確保、定着対策に取り組んでいる。 ・ 水島コンビナートは西日本最大のコンビナートであり、多様な業種が集積し、岡山県の就業人口の6分の1が働いている。 ・ 水島コンビナートは、地球温暖化対策や物流網の強化、グリーンイノベーションなど、様々な課題に取り組んでいる。 ・ 倉敷地域の有効求人倍率は高く、企業間での人材獲得競争が激化している。 ・ 少子高齢化により就労世代人口は減少しており、倉敷市には魅力あるまちづくりを通して人材を呼び込む必要がある。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水島コンビナートは倉敷市、岡山県、そして日本を代表する重要な産業拠点であると認識している。本日は様々な意見交換をお願いしたい。
A社 Aさん	<p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の進学率増加、特に工業高校志望者の減少が課題である。 ・ 企業の魅力を小中学校段階からPRし、地元での就職を促す必要がある。 ・ 水島コンビナート、倉敷駅周辺の道路渋滞の緩和が必要である。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生・高校生向けに「企業学び楽舎」講座を実施し、地元企業の魅力を伝え、将来の職業選択に役立ててもらおうとしている。 ・ 道路渋滞緩和のため、国道2号の立体化を国へ要望するなど幹線

<p>A 社 a さん (若手職員)</p>	<p>道路や生活道路の整備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内出身。市内工業高校の化学科卒業。 ・ 水島コンビナートの企業の多様性とアクセスの良さが魅力で、地元での就職を選んだ。 ・ 工業プラント業務では、3交代勤務以外の選択肢が少ないことが課題である。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT 化などを通して、勤務環境の改善に期待する。 ・ 卒業された工業高校は子供たちへのものづくりの講座に協力いただいております、今後も活発な活動を期待している。
<p>B 社 B さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場見学やインターンシップを通して、企業の魅力を伝えている。 ・ 県外でも就職説明会を実施し、採用活動の範囲を広げている。 ・ 専門部活動を通じた採用活動にも力を入れている。 ・ 笠岡工業高校との EV 事業を計画しており、高校へ出向いての採用活動に努めている。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 社、C 社の工場見学は、小学校の定番コースとなっている。 ・ G7 大臣会合で B 社を見学した海外の大臣からも、日本のものづくりの緻密さに感銘を受けたという声が寄せられた。 ・ 学校との連携を強化し、早い段階から企業の魅力を伝えることにご協力をお願いしたい。
<p>C 社 C さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生、高専・大卒、中途採用の 3 つの採用ルートで人材を確保している。 ・ 高校生採用は競争が激化しており、工業高校以外からも採用活動を行っている。 ・ 中途採用は毎月実施し、CM など活用して広報している。 ・ 九州地域からの採用が難しくなっており、県内での人材確保が重要である。 ・ 工業高校の生徒減少は、ものづくり人材の減少につながる大きな問題と懸念している。 ・ キャリア教育を一步進めて、中学生がものづくりする企業に就職することを意識して、工業高校を選択するよう促すことを期待する。 ・ 女性の採用、特にものづくりを志す女性の確保が課題である。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ U ターン就職の促進策に期待する。 ・ C 社は女性採用に向けて機材の開発など積極的取り組み、女性が働きやすい環境づくりに貢献している。 ・ 市のホームページで U ターン就職情報を発信することを検討する。
<p>D 社 D さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新卒採用が創業以来最も厳しい状況である。 ・ 高校生の求人情報のデジタル化が進展している。 ・ 周囲の企業の賃上げに追いつくことが難しい。

市長	<ul style="list-style-type: none"> 社員の定着率向上のため、賃金制度の見直しや職場環境の改善に取り組んでいる。 市税の減税措置などの支援策を要望する。 法律で決まっているので独自の減税はできないが、中小企業への支援体制整備を国へ要望していく。
E社 Eさん	<ul style="list-style-type: none"> 大卒、高卒ともに採用活動は苦戦している。 児島地域の魅力をPRすることで、遠方からの採用につなげたい。 条件面では、休日数や仕事時間の見直しを行っていく。 高校訪問など、地元採用にも力を入れていく。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 児島駅周辺の再開発を通して、活性化に努める。 児島の繊維産業のPRにも力を入れる。
E社 eさん (若手職員)	<ul style="list-style-type: none"> 市内出身。地元で働きたいという思いと、親族が児島にいたことなどからE社に就職した。 児島の海の景色の良さは学生へのアピールポイントとなっている。 総社などから本社へのアクセスが悪いことが課題である。 子育ての社内環境が整っている。 市内の遊び場の整備などワークライフバランスが重要。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 山陽ハイツ跡地に大型遊具を整備するなど、子連れで遊べる環境の充実に力を入れている。
F社 Fさん	<ul style="list-style-type: none"> 若者は休日の充実を重視しており、全国規模のイベントを倉敷で開催することで、若者の定住促進につなげてほしい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> F社の工場見学ツアーは、倉敷への集客に貢献している。 市内に施設が多いため野球の全国的なイベントは開催していたが、文化的なものについて、いきなりは難しいだろうが検討する。
G社 Gさん	<ul style="list-style-type: none"> 24時間勤務や作業環境の厳しさから、採用活動は苦戦している。 ホームページに漫画を活用するなど、工夫を凝らしている。 倉敷の魅力を理解し、県外からの採用につなげたい。
G社 gさん (若手職員)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県内出身、市内普通科高校卒業。 普通科高校の生徒は、学校の先生から進学を勧められるため、地元企業から、普通科高校の生徒や、親世代へ、地元就職を訴求するのが有効ではないか。
C社 Cさん	<ul style="list-style-type: none"> 企業から高校生への直接アプローチが禁止されていて、学校の先生経由でないとアプローチできない仕組みになっている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 親世代への働き掛けも重要であると認識した。 「企業学び楽舎講座」で地元企業の魅力を伝えていく。
H社 Hさん	<ul style="list-style-type: none"> 自社の認知度が低いため、夢や希望を持てる仕事内容、プラチナくるみんの取得など安定した労働環境をアピールしている。 地元の高校の文化祭に出店するなど、地域との連携も強化してい

<p>I 金融機関 I さん</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市が企業情報を集約したホームページを構築し、倉敷の企業を知ってもらう機会を増やすよう希望する。 ・ 採用活動は苦戦している。 ・ 奨学金利息負担、住宅ローン・自動車ローンの優遇、Uターン者向け座談会など、福利厚生や採用活動に工夫を凝らしている。 ・ アルバイト体験制度の導入を検討している。 ・ 既存職員の離職も深刻なので、広島県の例を参考に、地域事業者との連携による人材交流の仕組みを構築したい。
<p>I 金融機関 i さん(若手職員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内出身。大学で県外へ出たが、Uターン就職した。 ・ 新倉敷駅周辺に商業施設や娯楽施設などがあれば、玉島の魅力の創出につながるのではないかと期待する。
<p>J病院 Jさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者の不足が深刻である。 ・ 民間紹介会社の手数料が高額であることが課題である。 ・ 休日数や給与面が就職先選びのポイントとなっていると感じることから、福利厚生を充実させることで、離職防止に努めている。 ・ 倉敷市で一定期間働いた場合に、市から旅費補助などを提供することで、若者の定着を促進できるのではないかと。 ・ ハローワークからの就職が決まった方に、ハローワークが就職した会社を通して謝礼を払うことで、民間紹介会社からの紹介を減らすことはできないか。
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倉敷市からの旅費補助は難しい。 ・ 紹介会社の手数料が高いため、市、ハローワーク、雇用開発協会が連携して、直接的に人材紹介の機会を増やせないか考えてみたいと思います。